



# 図書館つうしん



## 春の息吹を感じる読書

新緑の草木や、おいしい食が織りなす人生模様を楽しんでみませんか？



『春を背負って』  
笹本 稜平／著



『ずっしり、あんこ』  
青木 玉ほか／著



『春、戻る』  
瀬尾 まいこ／著



『タクシードライバー-美食日誌』  
荒木 源／著



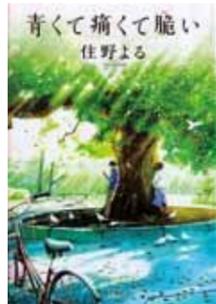
『山女日記』  
湊 かなえ／著



『勿忘草をさがして』  
真紀 涼介／著



『食堂のおばちゃん』  
山口 恵以子／著



『青くて痛くて脆い』  
住野 よる／著



『旅屋おかえり』  
原田 マハ／著



『春はやて』  
平岩 弓枝ほか／著

## 長期未利用者の登録データの整理について

登録データの適切な管理・運用のため、10年以上ご利用がない方の登録を3月31日をもって抹消させていただきます。あらためてご利用される際は、再度ご登録をお願いします。住所や氏名などの確認ができる書類（運転免許証、マイナンバーカードなど）をお持ちください。

### 図書館イベントカレンダー

3/14(土) おはなし会 午前11時  
国見・武蔵・安岐の各図書館

### 3月の休館日【毎週月曜日は定期休館日】

3/20(金) 祝日（春分の日）  
3/31(火) 月末資料整理日（毎月最後の平日）

★臨時休館中のくにさき図書館は、4月1日(水)より開館します。

## 「かこ さとし」生誕100周年

長く愛され続ける名作絵本



『からすのパンやさん』  
偕成社



『だるまちゃんとてんぐちゃん』  
福音館書店

蔵書検索はこちら



国東市 Instagram



国見図書館 ☎82-1585 武蔵図書館 ☎69-0946  
安岐図書館 ☎67-3551

## こころをつなぐ 人権シリーズ

## ヤングケアラー

文責：社会教育課 郷司 康夫

「家族のためにがんばる子どもたちがいます」と聞くところのような感想を持たれますか？「家族のためにがんばるなんて偉い」とか「子どもが大人のためにがんばるってすごいこと？」とか、いろいろあると思います。知っている方はピンときたと思いますが、この質問は「ヤングケアラー」に関連するものです。

本来ならば大人が担うような家事や家族のケア、介護を日常的に行っている18歳未満の子どものことを「ヤングケアラー」といい、令和2年度に国が実施した「ヤングケアラーの実態調査」では、中学2年生の17人に1人、全日制高校2年生の24人に1人が、家事など、家族の世話を行っている実態が明らかにされました。家族のケアを子どもたちが日常的に行い、負担が増えることで、勉強の時間とれない、遅刻や欠席が増える、友だちと遊べない、共通の話題が少なくなり孤立するなど、精神面・身体面に悪影響がおよぶ可能性があります。

今年度、国東市の身になる人権講座の

中で子どもの人権をテーマとした回があり、初めて知る内容に皆さん驚かれました。その中で「ヤングケアラー」についてもふれていただいたのですが、感想用紙の自由記述欄には、「昔は皆ヤングケアラーだったかも」「自分の過去と置き換えてみてもケアラーの線引きがわからない。家族の一員として当たり前と思うが……」のような意見も1割ぐらいの方が書かれていました。私自身、ボーダーラインが不明瞭だったので、講演後、講師に質問して「その子どもが『ヤングケアラー』という概念を知った後の、その方の判断による」と教えていただきました。

「ヤングケアラー」は、家庭の中のことと一見してわかりにくく、まだまだ理解が進んでいない課題ではないでしょうか。子どもが家事を手伝うことは大切です。ただ、限度を超えた場合、社会全体で支えることが理想だといわれています。その理想に向かって、皆さんと一緒に学びを進め、できることから行動に移していきたいと思えます。



## 教育の里 あらかると

1月28日、志成学園の3年生がみそ造りを体験しました。安永醸造「かね松」の皆さんを講師に迎え、みその歴史やこうじの造り方、大豆からみそになるまでの工程を学びました。みそ造りは昔ながらの製法に挑戦。真空パックの大豆1キロを足などをつかってつぶし、麦こうじと塩を混ぜ、空気を抜きながらポリ袋に詰めました。力のいる作業を通して、普段食べているみそができるまでの手間を実感する時間となりました。作ったみそは半年ほど熟成させ、夏以降に味わえるようになります。



教育総務課 総務係 ☎73-0066